

目次

国際協力に当たっての原則	1
多国間協力における我が国の位置づけ	2
先進国との協力	4
アジア太平洋諸国との協力	6
実利用展開を目指す協力の推進	9

国際協力に当たっての原則

- **自律性、独自性、技術力の確保と国際協力とのバランス**

(能力、財源を踏まえたプライオリティ付け)

- **我が国の技術能力を積極的に活用した国際協力**

(相互補完、得意分野、双務性・互惠性、市場可能性等の国益を配慮)

- **平和利用と国際的レジームとの調和**

(1)平和利用の原則

(2)国際約束等の遵守 (宇宙4条約、ミサイル技術管理レジーム (MTCR)等)

多国間協力における我が国の位置づけ

➤ **我が国の高い研究・技術水準を背景として、国際的活動において重要な役割を果たしてきている。**

- ・国際的検討における議長国任務
- ・国際シンポジウム、ワークショップ等の主催
- ・国際機関の事務局任務
- ・アジア太平洋地域の取りまとめ役
- ・専門家派遣等を通じた検討への積極的参画

➤ **引き続き重要な役割を担うことを目指す**

多国間協力の場における事例

- **国連宇宙空間平和利用委員会 (COPUOS)**
 - ・技術的な検討等において重要な役割を果たすとともに、能力開発方策に関する検討チームの議長国として報告書取りまとめ。
- **統合地球観測戦略 (IGOS) パートナーシップ**
 - ・我が国は、海洋、全球炭素、全球水循環、大気化学の各テーマの戦略計画作成に参画。水循環テーマにおいては、テーマ・チームの共同議長を務める。
- **地球観測衛星委員会 (CEOS)**
 - ・日米欧で事務局を分担するとともに、我が国はアジア太平洋諸国の代表としてこれらの地域との連絡に責任を持つ。また、2001年には我が国が議長国を務めている。
- **宇宙科学関係機関連絡協議会 (IACG)**
 - ・日米欧露の宇宙科学分野での観測戦略に関する協議に参画。過去4回日本で会議を開催。
- **国際災害チャータへの参加**
 - ・緊急災害発生時に、参加国の保有する衛星データを無償で提供することにより、災害支援を行う衛星保有国間における枠組みに参加申請。
- **アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF)**
 - ・我が国の主催・議長の下、1993年から毎年、アジア太平洋諸国の宇宙機関を集めて開催。本年1月にタイで開催した第10回会合では、災害・環境監視、宇宙通信、宇宙教育等の分野で協力を強化する勧告が合意。

先進国との協力

➤ 目的達成のために相互補完を目指す協力

地球規模の問題（水循環、炭素循環、防災等）への取組みや人類の知的資産の拡大を目指す活動

我が国が得意なセンサー、ロボティクス等

・自律性向上の観点から、打上げ補完、部品の共通化、GPS補完等を検討中

➤ 引き続き推進

先進国協力の事例

➤ 米国 (米国航空宇宙局 :NASA)

- ・日本人宇宙飛行士の訓練 / シャトル搭乗及び宇宙実験等の宇宙環境協力
- ・はやぶさ等の科学衛星や熱帯降雨観測衛星 (TRMM)、環境観測技術衛星 (ADEOS -)等の地球観測衛星に相互にセンサーを搭載
- ・NASAによるJAXA衛星の追跡管制、人工衛星データの両国間での受信協力等

➤ 欧州 (欧州宇宙機関 :ESA、仏国立宇宙研究センター :CNES、ドイツ航空宇宙センター :DLR等)

- ・日欧の人工衛星間での光通信実験 (ESA)
- ・赤外線天文衛星 (ASTRO - F) (ESA)
- ・高速飛行実証実験協力、地球観測衛星 (ADEOS等)への観測センサーの搭載等 (CNES)
- ・技術試験衛星 (ETS - 7)におけるロボティクス実験協力 (DLR)

➤ ロシア (ロシア航空宇宙局 :Rosaviakosmos)

- ・宇宙飛行士訓練、微小重力実験等の協力

➤ 先進国間での多国間協力

- ・日米欧露加による国際宇宙ステーション計画の実施

アジア太平洋諸国との協力

➤ 宇宙利用の促進の協力

・アジア太平洋諸国の技術レベルを踏まえた段階的な展開

- 人材育成 (リモートセンシング等の研修の実施)
- 受信局等のインフラ整備
- 人工衛星からのデータの利用促進

➤ 将来の市場化を踏まえた基盤的協力の展開

アジア太平洋諸国協力の事例

➤ アジア太平洋諸国との多国間協力

- ・気象衛星ひまわりの画像の無償提供 (1977年～ 現在)
- ・アジア工科大学 (AII)におけるリモートセンシング研修の実施 (1995年～ 2002年末までに延べ637名)
- ・リモートセンシング技術センターによる研修の実施 (1977年～ 2001年末までに延べ325名)
- ・MOS - 1 / JERS - 1のデータ受信、共同研究

➤ タイ (タイ国家地理情報宇宙技術開発機関 :GISTDA)

- ・MOS - 1 / JERS - 1のデータ受信、共同研究 (1986年～ 2002年)
- ・JAXA地上局の設置 (1988年)
- ・地上局の無償譲渡 (2002年)
- ・国土管理分野におけるパイロットプロジェクトの実施 (2003年～)

➤ インドネシア (国立航空宇宙研究所 : LAPAN)

- ・MOS - 1 / JERS - 1のデータ受信、共同研究 (1995年～ 2002年)
- ・JAXA地上局の設置 (1995年)
- ・地上局の無償譲渡 (2002年)
- ・漁業水産分野におけるパイロットプロジェクトの実施 (2003年～)

➤ マレーシア

- ・通信衛星を利用した遠隔教育のパイロット実験の実施 (2004年～)

アジア諸国の日本に対する期待

- 多国間協力構築のためのインテグレーターの役割
- アジア各国のニーズに対応した技術支援

・地球観測衛星データ利用

- 地図作成
- 災害監視
- 環境監視
- 疫病対策

・社会情報インフラとしての通信衛星の利用

- 遠隔医療 教育

・小型衛星開発技術

・人材育成 (キャパシティービルディング)

実利用展開を目指す協力の推進

➤ 特続可能な開発」のツールとしての衛星データ利用 (災害監視、土地利用、農業等)を促す協力の展開

- ・パイロットプロジェクトの継続した実施
- ・アジア地域災害監視構想の検討
- ・アジア・デジタルアーカイブの構築
- ・小型衛星開発への技術協力の検討

極力、相手国も自ら負担する形態の協力を目指す